

水資源の事後調査

資料1-1

○井戸の水位、湧水の水量

	調査内容	調査範囲・地点	調査方法	調査期間・頻度
工事着手前	・井戸の利用状況等 (井戸の形式、使用量、標高等)	・予測検討範囲及びその周囲の個人井戸等	・聞き取り調査等	・工事着手前
	・井戸の水位（湧水の水量） ・水温 ・pH ・電気伝導率 ・透視度	・準備書における文献調査及び現地調査で把握した井戸 ・予測検討範囲内で、上記「井戸の利用状況等の調査」を踏まえ、井戸の分布状況、標高、地形や地質、トンネルとの位置関係等を考慮の上、一定の集落の単位で調査地点を検討します。 ・地域の意見を踏まえ、必要に応じて予測検討範囲の周囲についても調査地点を検討します。 ・自治体からの調査の要請のあった井戸についても検討します。	・「地下水調査及び観測指針（案）」 (平成5年 建設省河川局) に準拠	・トンネル掘削前の1年間、月1回の観測を考えています。
工事中	同上	同上	同上	・月1回の観測を基本とすることを考えています。なお、工事の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて調査頻度は変更することを考えています。
工事完了後	同上	同上	同上	・トンネル掘削完了後3年間、4季の観測を基本とすることを考えています。なお、状況に応じて調査期間は別途検討します。

○地表水の流量

	調査内容	調査範囲・地点	調査方法	調査期間・頻度
工事着手前	・地表水の流量 ・水温 ・pH ・電気伝導率	・トンネルの工事に伴い影響が生じる可能性があると思定した河川、沢を対象にその流域の下流地点等	・「地下水調査及び観測指針（案）」 (平成5年 建設省河川局) に準拠	・トンネル掘削前の1年間、月1回の観測を考えています。
工事中	同上	・工事着手前の調査地点を基本とし、工事の進捗状況等を踏まえ必要に応じて調査地点を増減させることを考えています。	同上	・月1回の観測を基本とすることを考えています。なお、工事の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて調査頻度は変更することを考えています。
工事完了後	同上	・工事中の調査地点を基本とし、状況を踏まえ必要に応じて調査地点を増減させることを考えています。	同上	・トンネル掘削完了後3年間、4季の観測を基本とすることを考えています。なお、状況に応じて調査期間は別途検討します。